科目名	税法　　Law of Taxation						
科目担当者	甲斐 敬浩　　KAI Takahiro						
単位数	4	配当年次	3年	授業形態	講義	開講学期	通年
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	法学部・法律学科［専門教育科目　専門科目］ 経営学部・経営学科［専門教育科目　関連科目］					ディプロマポリシーとの関連	(1)(5)
授業の概要	私達は皆、納税者です。しっかりと税金と向き合うことが、納税者としての責任です。その税金の賦課・徴収などについて定めている法規、「税法」は最も身近な法律の一つと言えるでしょう。講義では税法についての基本的なことを理解し、みなさんの実社会における生活力を UP させることを目指します。 この科目は、現役の税理士が実務経験を踏まえて生活に関わりのある身近な税について講義を行います。						
授業の到達目標	①私たちの生活に関わりのある所得税、消費税の知識を身につけ基本的な考え方や仕組みを理解する。 ②税法について学ぶことにより、就職後社会人として役立つ知識を習得する。						

授業計画・内容

1	税金の基礎知識(税金とは)	16	消費税のあらまし(消費税とは)
2	税金の基礎知識(全体像)	17	消費税のあらまし(全体像)
3	所得税(1)所得税の基礎知識	18	消費税(1)各種届出書の記載方法
4	所得税(2)所得税のしくみ	19	消費税(2)課税標準等に関する基本通達（前半）
5	所得税(3)所得の分類と各種所得金額の計算方法(前)	20	消費税(3)課税標準等に関する基本通達（後半）
6	所得税(4)所得の分類と各種所得金額の計算方法(中)	21	消費税(4)各種税額控除
7	所得税(5)所得の分類と各種所得金額の計算方法(後)	22	消費税(5)控除対象仕入税額の計算方法（前）
8	所得税(6)各所得控除の種類と計算方法（前）	23	消費税(6)控除対象仕入税額の計算方法（中）
9	所得税(7)各所得控除の種類と計算方法（中）	24	消費税(7)控除対象仕入税額の計算方法（後）
10	所得税(8)各所得控除の種類と計算方法（後）	25	消費税(8)簡易課税制度（前）
11	所得税(9)青色申告制度	26	消費税(9)簡易課税制度（中）
12	所得税(10)確定申告書の記載方法(前半)	27	消費税(10)簡易課税制度（後）
13	所得税(11)確定申告書の記載方法(後半)	28	消費税一般課税の計算演習
14	所得税(12)源泉徴収制度及び年末調整のしくみ	29	消費税簡易課税の計算演習
15	まとめ	30	まとめ

授業外学修 (事前学修)	毎回テーマに出てくる専門用語の意味などをあらかじめ調べておく（毎週 2 時間）
授業外学修 (事後学修)	講義で学習した内容が実務にどう反映しているか、インターネット等で検索し理解すること（毎週 2 時間）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応

成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
定期試験	60%	①、②
コメントシートの提出	40%	①、②

成績評価基準

秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合
優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合
良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合
可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合
不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合

教科書	レジュメを配布します。必要があれば講義の中で指示をします。
参考文献	なし
その他	※この科目は、現役の税理士が実務経験を踏まえて生活に関わりのある身近な税について授業を行います。